



10月3日(金)に人権授業参観・人権集会(パネルディスカッション)を予定しています。

13時45分～14時30分 各クラス人権参観(各クラス)

14時40分～15時40分 人権集会(パネルディスカッション)(体育館)

多様な文化や価値観を尊重しあい、誰もが安心して自分らしく生きられる社会の実現に向けて、自分自身をふりかえりながら、「わたし」が大切にしたいこと、「わたし」にできることなどを考える機会になればと思います。今年度は、学年ごとに様々な人権課題について、本校のカリキュラムに沿った授業を参観していただきます。授業後は、外国人と接する機会が多い地域の方々をコーディネーター、パネラーとしてお招きし、実際に校区に居住されている外国人の方のお話もうかがいながら、体育館でパネルディスカッションをする予定です。ぜひご参加ください。

人権集会(パネルディスカッション) 「ちがいがカラフル わたしが広がる」

～みんなで学び、気づき、つながる 1時間 あなたの隣は どんな世界?～

コーディネーター NPO 法人ハンズツリーより

パネラー 三田じばやん倶楽部より

緑ヶ丘学遊の森より

本校保護者よりビデオ出演

各学年の教材について

それぞれの学年での授業の内容についてです。

1年生

「はしのうえのオオカミ」

一本橋を渡るオオカミは、同じ橋を渡ろうとしていたうさぎやたぬきを通せんぼして追い返す。クマが渡ろうとしたときは道を譲ろうとするが、クマはオオカミを持ち上げて、そっと後ろにおろした。翌日、オオカミはクマと同様のことをウサギにしてみると、前よりいい気持ちになったというお話。オオカミの行動や気持ちの変化から親切心について考えていきます。

2年生

「みんなでごめんね」

森にすむ仲良しの動物たち。作った椅子が壊れたり、絵本が破れたり毎日いろいろなことが起きています。そのたびに「ぼく知らないよ」と言いながら、「〇〇がやったんじゃないかな」と決めつけている動物たち…悪いことしたと決めつけられる動物の気持ちを通して、決めつけや思い込みのおかしさについて、また、自分の間違いを認めることの大切さについても考えていきます。

3年生

「だいこんとにんじん」

だいこんばかりがくらしているだいこんの町とにんじんばかりがくらしているにんじんの町がありました。ある日、だいこんの町に来たにんじんは赤い見た目のせいで笑われてしまいます。その後、今度はにんじんの町では真っ白なだいこんが笑われ、逃げて帰っていきました。だいこんとにんじんが仲良くするためには、どうすればよいのか考えます。

4年生

「いじりといじめ」

ゆうきは授業の中で、まさるのまちがった発言に対してクラスが笑ったことがいじりなのか、いじめなのかを悩みます。そして、同じクラスのみかの発言から、まさるの気持ちを考えたことがなかったことに気づきます。教材を通して、いじりはいじめにつながることや、よくない行動や発言をみんなで直すことがよりよい集団づくりにつながるということを考えていきます。

5年生

「ちがいのちがい」

生活する上で自然と起こり得る、「あってもよいちがい」と「あるとよくないちがい」とは何なのだろう。「ちがい」があることは自然であること、それを尊重していく大切さや、社会における「あるとよくないちがい」の解決方法や対処の仕方について、自分の考えをもち、実践しようとする意識を高められるように考えていきます。

6年生

「渋染一揆」

江戸時代末期の岡山藩で起きた農民一揆。その藩から出された「別段御触書」は、被差別身分の人々に対してのみ、服装や生活様式を制限する差別的な内容であった。この一揆は、藩の差別政策に抵抗したものであり、差別撤廃を求めた人権獲得のための行動である。差別に対して怒りをもって立ち上がった人々の人間らしい生き方や思いに共感し、おかしいと感じたことに対して声をあげる意義について考えます。